



▶ 主な内容	P2…暮らしの情報、年金通信	P3…確定申告のご案内	P4…男女共同参画推進条例の施行から今年で5年
--------	----------------	-------------	-------------------------

ヒブ(Hib / インフルエンザ菌b型) ワクチン 小児用肺炎球菌ワクチン

乳幼児の深刻な病気を予防します

乳幼児に死亡、または重い後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎。この病気の主な原因となるのが、ヒブや肺炎球菌の感染です。これらの細菌は、髄膜炎以外にもさまざまな重症感染症を起こすことがあります。

ヒブ (Hib) とは、ヘモフィルス属インフルエンザ菌b型のこと。ヒブが、子どもの血液や肺の中に侵入すると、髄膜炎や敗血症・急性喉頭蓋炎などの深刻な病気を引き起こします。年齢とともにヒブに対する免疫がつくようになり、通常5歳以上の幼児はヒブによる病気にはかかりにくくなります。これまで日本では、年間600人もの子どもがヒブによる髄膜炎にかかっていたと推定され、その約半数は生後4ヵ月から1歳代の子どもとされています。

一方、肺炎球菌とは、その名の通り、肺炎の原因になる細菌ですが、乳児の場合は肺炎だけでなく髄膜炎、急性中耳炎、菌血症など、重症な細菌感染の原因になります。

細菌性髄膜炎は、早期診断が難しく、ワクチンによる感染予防が効果的であるといわれていますが、いずれのワクチンも発熱や、接種箇所の局所反応（赤くはれるなど）、まれにけいれんなどの副反応が生じる可能性があります。



接種公費負担の対象は—
0～4歳の乳幼児
(平成18年2月2日以降に生まれた乳幼児)

助成対象者には、1月下旬にワクチン接種実施医療機関などの詳細を通知しますが、接種が義務付けられているわけではありません。希望者は、接種の効果やリスクをご理解いただいた上で接種してください。

対象者の接種費用を負担します

子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン

国の「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」の実施を受けて、市では、2月1日から、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」について、対象者の接種費用を全額負担します。
※助成対象者以外も、接種実施医療機関で実費による接種ができます。
☎ 健康支援室 ☎ 63 - 6970



子宮頸がん予防ワクチン

女性特有の子宮頸がんを予防します

子宮頸がんは、女性の生命にかかわることはもちろん、死亡に至らない場合でも妊娠や出産の可能性を奪ってしまうことのある病気です。この病気の原因となるのが、HPVというウイルスの感染です。性交渉によって感染しますので、ワクチン接種は初交前が望ましいとされています。

ただし、ワクチンを接種しても全ての発がん性HPVを予防できるわけではありません（ワクチンは、子宮頸がん患者の60%からみつけたHPV16型と18型の感染を防ぐものです）。そのため、ワクチン接種後も、定期的な子宮頸がん検診が必要となります。

なお、ワクチン接種により、発熱や、まれに失神などの副反応が生じる可能性があります。

接種公費負担の対象は—

**中学1年生～
高校1年生の女子**
(平成6年4月2日生～平成10年4月1日生)



皆さんの声が、地域医療を守っていくためのきっかけに！
医師や看護師などの医療スタッフへの「ありがとう」のメッセージを募集しています
[1月31日月まで]



☎ 三重県医療政策室 ☎059-224-2326

これまで急な病気やけがなどで治療を受けたことがある、また、現在治療を受けているなど、お世話になった医師や看護師などの医療スタッフへ感謝の気持ちをメッセージにして伝えてみませんか。メッセージは、三重県から医療スタッフに届けられます。また、三重県のホームページなどにも掲載されます。
送付方法 1月31日頃までに、メッセージと、メッセージを贈りたい相手（氏名や

勤務先病院名、勤務先の市町名、職種）と贈り主（住所、氏名、電話、年齢、性別）を書いて、三重県医療政策室（〒514-8570 津市広明町13）へ。ファクス（059-224-2340）、電子メール（iryos@pref.mie.jp）でも受け付けています。
◎ 詳しくは、三重県ホームページ（http://www.pref.mie.jp/IRYOS/HP/oinainet）をご覧ください。お問い合わせ先へ